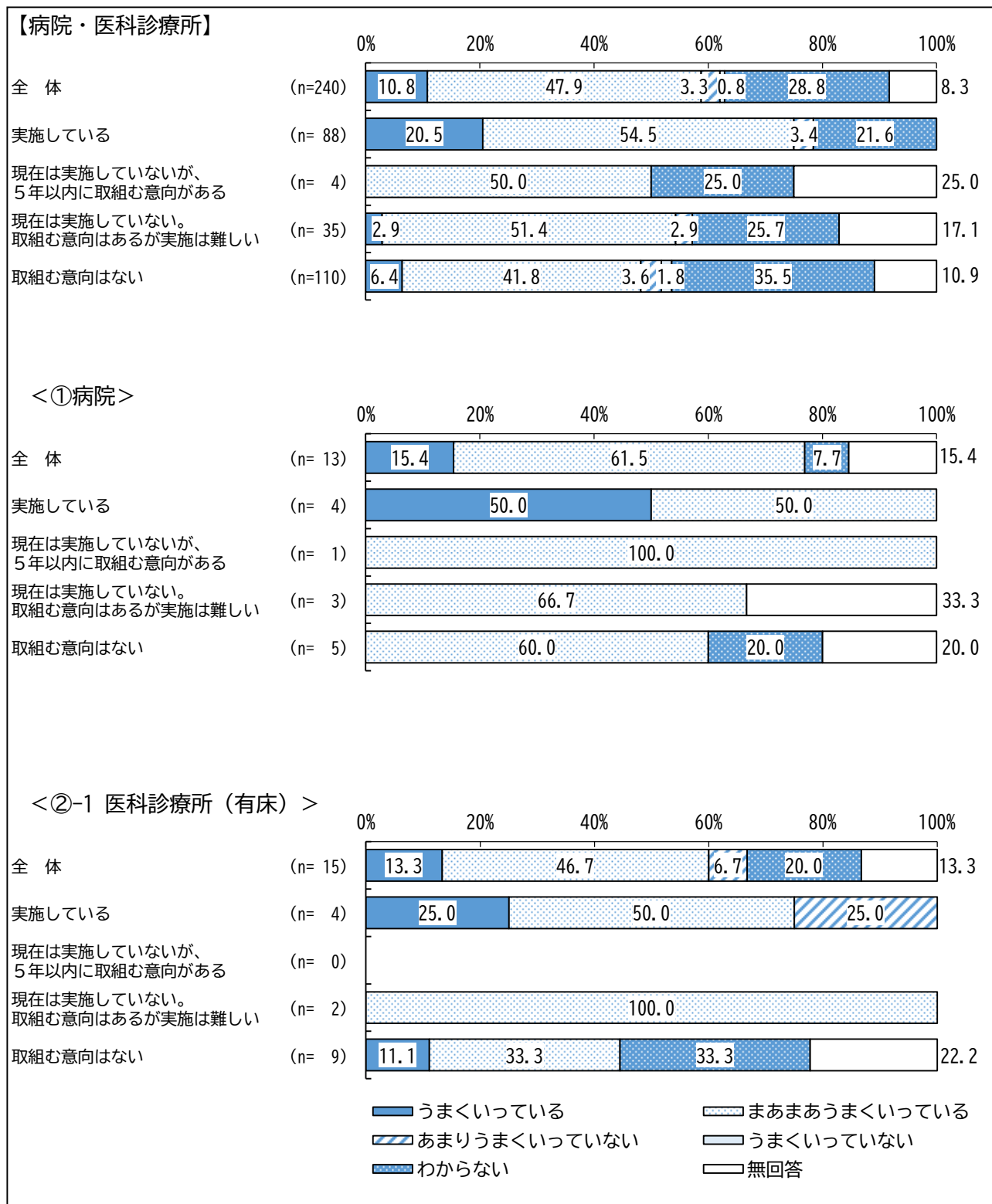
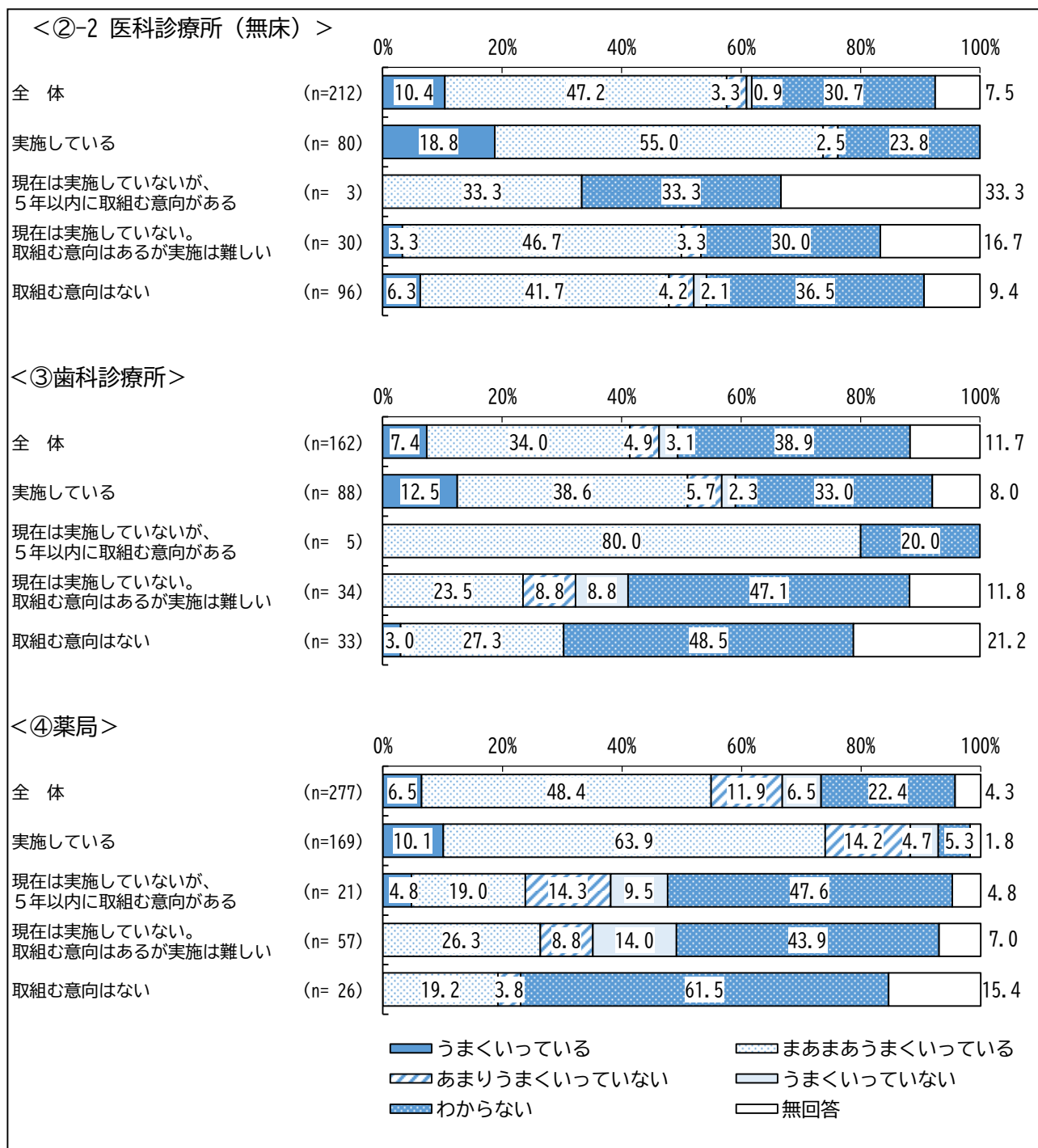


2 質問間クロス集計

(1)「在宅医療を実施しているか」と「医療・介護の連携はうまくいっているか」のクロス

※①病院・②医科診療所・③歯科診療所・④薬局





<在宅医療への取組みと医療・介護連携について>

「（在宅医療を）実施している」施設において、「（医療・介護の連携は）うまくいっている」と「まあまあうまくいっている」の回答を合わせると、『①病院』100.0%、『②-1医科診療所（有床）』75.0%、『②-2医科診療所（無床）』73.8%、『③歯科診療所』51.1%、『④薬局』74.0%となっている。

一方、「取組む意向はない」施設において、「わからない」の回答は、『①病院』20.0%、『②-1医科診療所（有床）』33.3%、『②-2医科診療所（無床）』36.5%、『③歯科診療所』48.5%、『④薬局』61.5%となっている。

さらに、「取組む意向はあるが実施は難しい」施設において、「わからない」の回答は、『①病院』0.0%、『②-1医科診療所（有床）』0.0%、『②-2医科診療所（無床）』30.0%、『③歯科診療所』47.1%、『④薬局』43.9%となっている。

(2)「在宅医療を実施していない理由」と「在宅医療の実施に必要なこと」のクロス

※①病院・②医科診療所・③歯科診療所・④薬局

		病院・ 医科診療所	① 病院	②-1 医科診療所 (有床)	②-2 医科診療所 (無床)	③ 歯科診療所	④ 薬局
在宅医療をしていない理由	在宅医療を開始するために必要なこと						
実施するためのスタッフがいらない	回答数(件)	69	5	2	62	27	58
	指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる	34.8	40.0	0.0	35.5	51.9	55.2
	チームで実施できる体制	56.5	80.0	50.0	54.8	81.5	55.2
	研修や体験の機会	24.6	60.0	0.0	22.6	51.9	39.7
	病状悪化時等に入院できる受入先の確保	44.9	60.0	0.0	45.2	40.7	17.2
	その他	13.0	20.0	50.0	11.3	3.7	17.2
	無回答	7.2	0.0	0.0	8.1	7.4	10.3
患者からのニーズがない	回答数(件)	22	0	2	20	11	44
	指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる	36.4	0.0	0.0	40.0	36.4	61.4
	チームで実施できる体制	59.1	0.0	0.0	65.0	81.8	72.7
	研修や体験の機会	22.7	0.0	0.0	25.0	45.5	36.4
	病状悪化時等に入院できる受入先の確保	45.5	0.0	100.0	40.0	27.3	18.2
	その他	13.6	0.0	0.0	15.0	9.1	9.1
	無回答	9.1	0.0	0.0	10.0	9.1	2.3
採算が取れない	回答数(件)	7	1	0	6	6	12
	指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる	14.3	0.0	0.0	16.7	50.0	58.3
	チームで実施できる体制	42.9	100.0	0.0	33.3	83.3	58.3
	研修や体験の機会	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	25.0
	病状悪化時等に入院できる受入先の確保	57.1	0.0	0.0	66.7	50.0	8.3
	その他	14.3	0.0	0.0	16.7	0.0	25.0
	無回答	14.3	0.0	0.0	16.7	0.0	8.3
必要性を感じない	回答数(件)	8	1	1	6	0	2
	指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる	12.5	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0
	チームで実施できる体制	12.5	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0
	研修や体験の機会	25.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	病状悪化時等に入院できる受入先の確保	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0
	その他	25.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	無回答	25.0	100.0	0.0	16.7	0.0	0.0
関心がない	回答数(件)	10	0	0	10	1	0
	指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる	20.0	0.0	0.0	20.0	100.0	0.0
	チームで実施できる体制	30.0	0.0	0.0	30.0	100.0	0.0
	研修や体験の機会	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	病状悪化時等に入院できる受入先の確保	20.0	0.0	0.0	20.0	100.0	0.0
	その他	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	無回答	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
時間が確保できない	回答数(件)	74	4	3	67	33	54
	指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる	35.1	25.0	0.0	37.3	36.4	59.3
	チームで実施できる体制	58.1	100.0	33.3	56.7	66.7	57.4
	研修や体験の機会	28.4	50.0	33.3	26.9	36.4	44.4
	病状悪化時等に入院できる受入先の確保	45.9	25.0	33.3	47.8	27.3	16.7
	その他	12.2	0.0	33.3	11.9	15.2	16.7
	無回答	9.5	0.0	33.3	9.0	9.1	7.4
専門領域以外の対応が困難	回答数(件)	37	1	4	32	14	6
	指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる	35.1	100.0	0.0	37.5	57.1	83.3
	チームで実施できる体制	54.1	100.0	25.0	56.3	71.4	83.3
	研修や体験の機会	32.4	100.0	0.0	34.4	71.4	66.7
	病状悪化時等に入院できる受入先の確保	48.6	100.0	50.0	46.9	57.1	33.3
	その他	24.3	0.0	50.0	21.9	7.1	0.0
	無回答	2.7	0.0	0.0	3.1	7.1	0.0

		病院・医科診療所	① 病院	②-1 医科診療所 (有床)	②-2 医科診療所 (無床)	③ 歯科診療所	④ 薬局
在宅医療をしていない理由	在宅医療を開始するために必要なこと						
経験がない・不足している	回答数(件)	20	3	2	15	16	25
	指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる	50.0	33.3	50.0	53.3	62.5	76.0
	チームで実施できる体制	65.0	100.0	50.0	60.0	75.0	60.0
	研修や体験の機会	55.0	66.7	50.0	53.3	68.8	64.0
	病状悪化時等に入院できる受入先の確保	40.0	33.3	50.0	40.0	43.8	12.0
	その他	5.0	0.0	0.0	6.7	12.5	8.0
	無回答	5.0	0.0	0.0	6.7	6.3	0.0
負担が大きい	回答数(件)	46	2	1	43	24	26
	指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる	37.0	50.0	0.0	37.2	41.7	57.7
	チームで実施できる体制	50.0	100.0	0.0	48.8	70.8	69.2
	研修や体験の機会	26.1	100.0	0.0	23.3	41.7	50.0
	病状悪化時等に入院できる受入先の確保	54.3	50.0	0.0	55.8	29.2	19.2
	その他	13.0	0.0	100.0	11.6	12.5	11.5
	無回答	8.7	0.0	0.0	9.3	12.5	7.7
その他	回答数(件)	12	1	0	11	7	8
	指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる	16.7	0.0	0.0	18.2	28.6	25.0
	チームで実施できる体制	25.0	100.0	0.0	18.2	14.3	50.0
	研修や体験の機会	8.3	0.0	0.0	9.1	28.6	25.0
	病状悪化時等に入院できる受入先の確保	33.3	0.0	0.0	36.4	28.6	25.0
	その他	41.7	0.0	0.0	45.5	28.6	37.5
	無回答	25.0	0.0	0.0	27.3	42.9	25.0

<在宅医療を実施していない理由>

在宅医療を実施していない理由のうち回答の多いものは、「時間が確保できない」「実施するためのスタッフがいらない」「負担が大きい」「患者からのニーズがない」の順となっている。

「時間が確保できない」において、在宅医療の実施に必要なことの内容は、『②-2医科診療所（無床）』：「チームで実施できる体制」56.7%、『③歯科診療所』：「チームで実施できる体制」66.7%、『④薬局』：「指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる」59.3%となっている。

「実施するためのスタッフがいらない」において、在宅医療の実施に必要なことの内容は、『②-2医科診療所（無床）』：「チームで実施できる体制」54.8%、『③歯科診療所』：「チームで実施できる体制」81.5%、『④薬局』：「指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる」と「チームで実施できる体制」55.2%となっている。

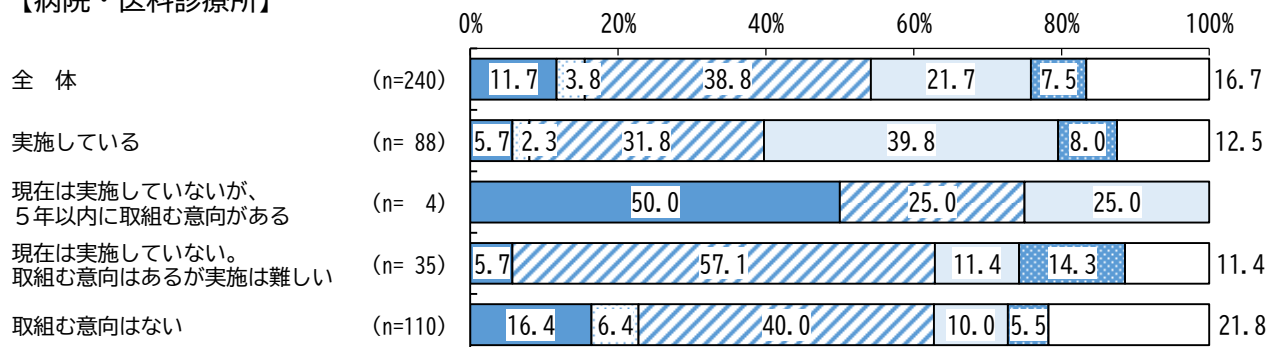
「負担が大きい」において、在宅医療の実施に必要なことの内容は、『②-2医科診療所（無床）』：「病状悪化時等に入院できる受入先の確保」55.8%、『③歯科診療所』：「チームで実施できる体制」70.8%、『④薬局』：「チームで実施できる体制」69.2%となっている。

「患者からのニーズがない」において、在宅医療の実施に必要なことの内容は、『②-2医科診療所（無床）』：「チームで実施できる体制」65.0%、『③歯科診療所』：「チームで実施できる体制」81.8%、『④薬局』：「チームで実施できる体制」72.7%となっている。

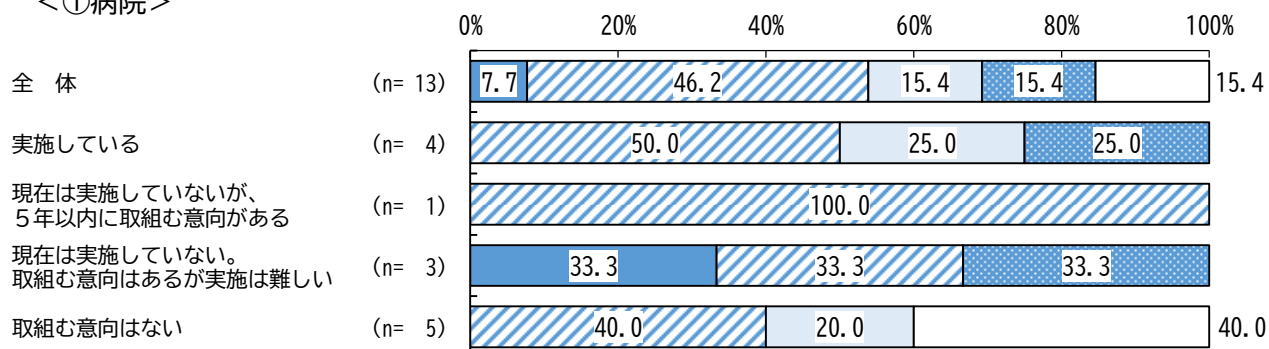
(3)「在宅医療を実施しているか」と「在宅における終末期の限界」のクロス

※①病院・②医科診療所・③歯科診療所・④薬局

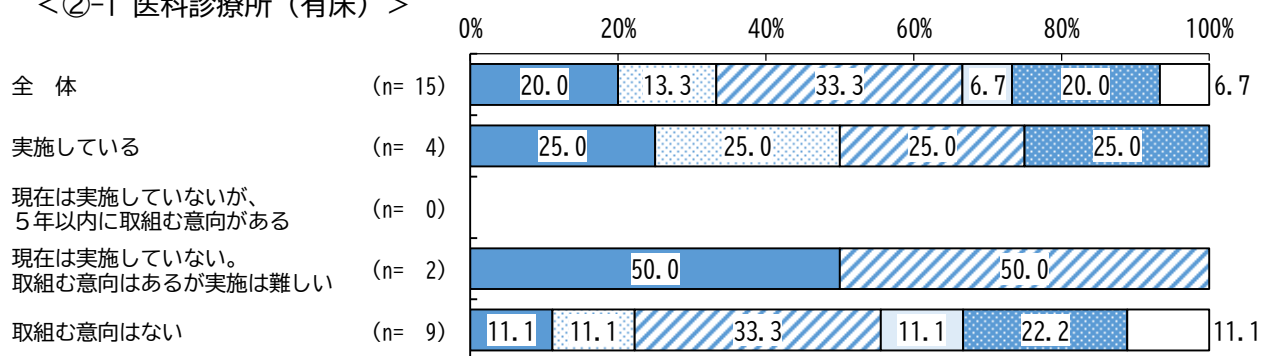
【病院・医科診療所】



<①病院>

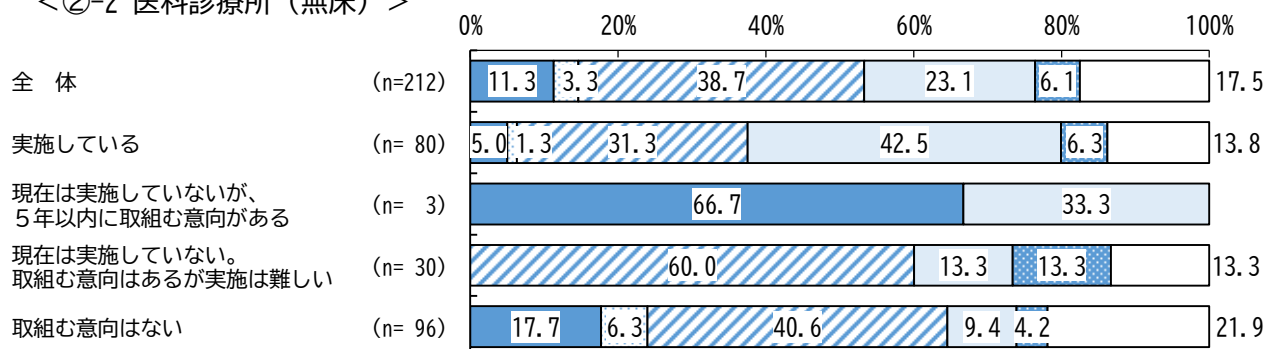


<②-1 医科診療所（有床）>

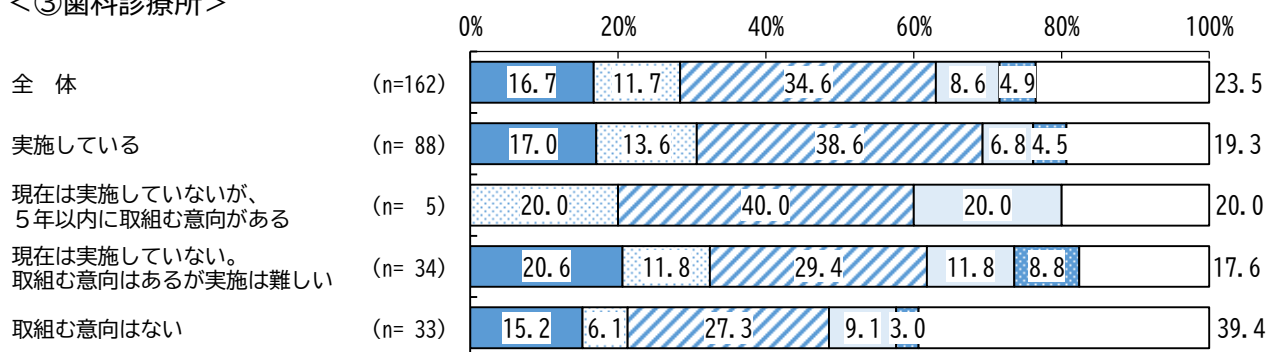


- 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている
- 可能な限り在宅で行うが、死の直前は病院等医療機関で行うべきである
- 可能な限り在宅で行いたい、単独では難しい
- 可能な限り在宅で看取りまで行うべきである
- その他
- 無回答

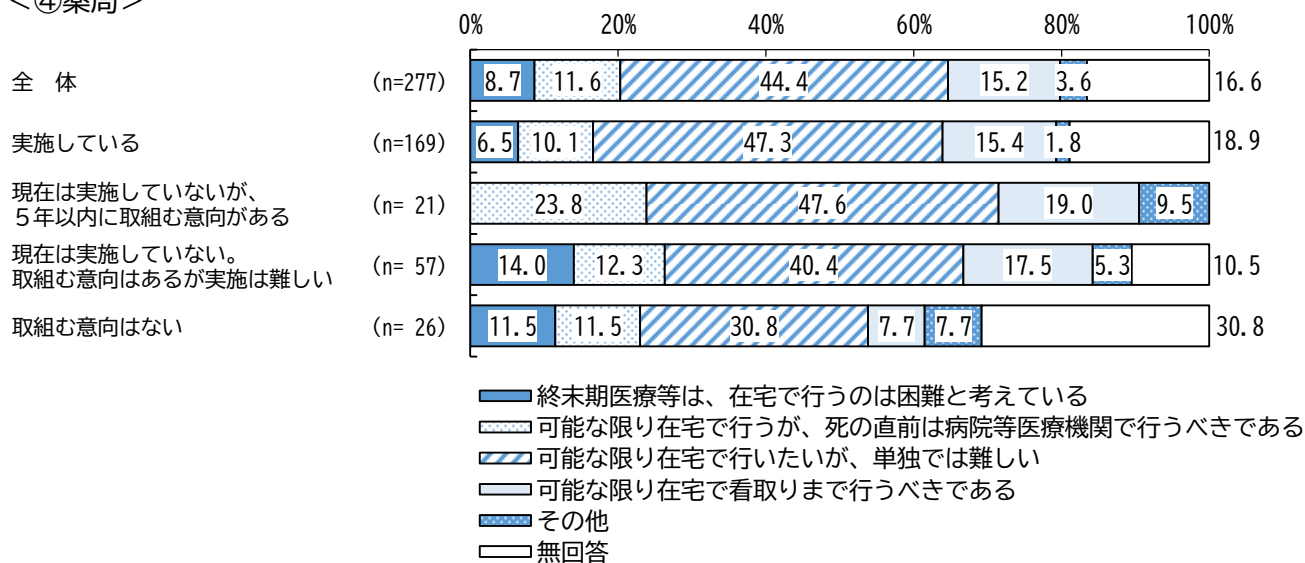
<②-2 医科診療所（無床）>



<③歯科診療所>



<④薬局>



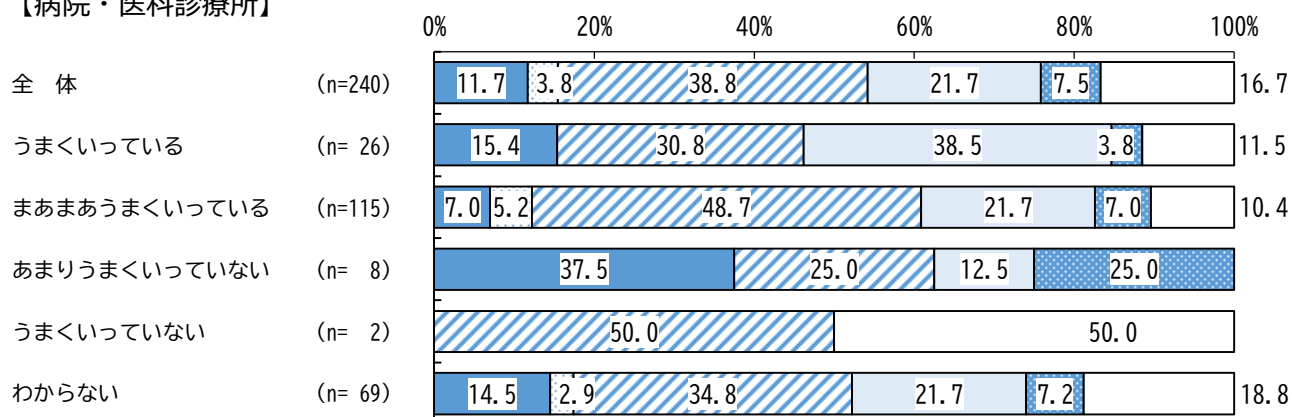
<在宅医療への取組みと在宅における終末期の限界について>

「（在宅における終末期の限界として）可能な限り在宅で行いたい、単独では難しい」の回答は、それぞれ『①病院』46.2%、『②-1医科診療所（有床）』33.3%、『②-2医科診療所（無床）』38.7%、『③歯科診療所』34.6%、『④薬局』44.4%となっている。

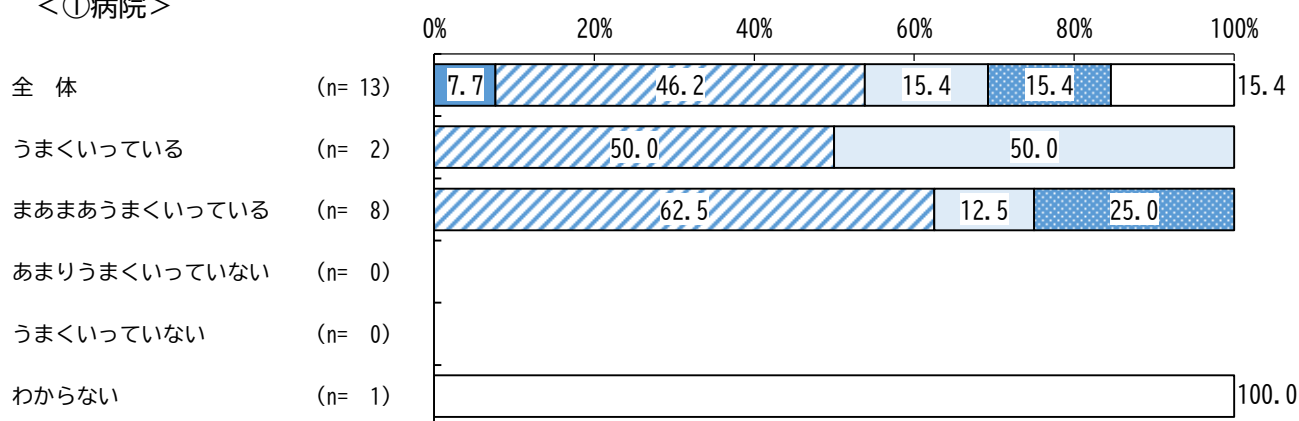
「可能な限り在宅で看取りまで行うべきである」の回答は、それぞれ『①病院』15.4%、『②-1医科診療所（有床）』6.7%、『②-2医科診療所（無床）』23.1%、『③歯科診療所』8.6%、『④薬局』15.2%となっている。

(4)「医療・介護の連携はうまくいっているか」と「在宅における終末期の限界」のクロス

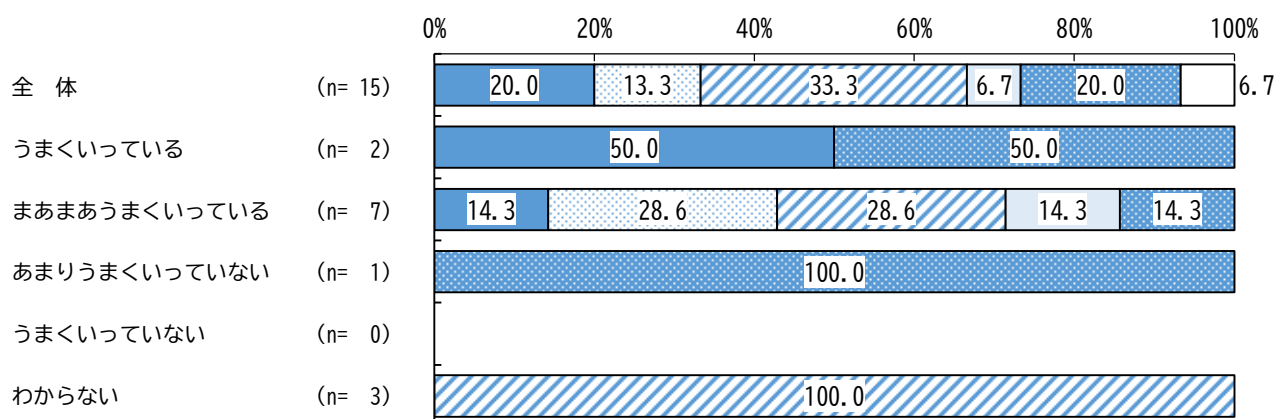
【病院・医科診療所】



<①病院>

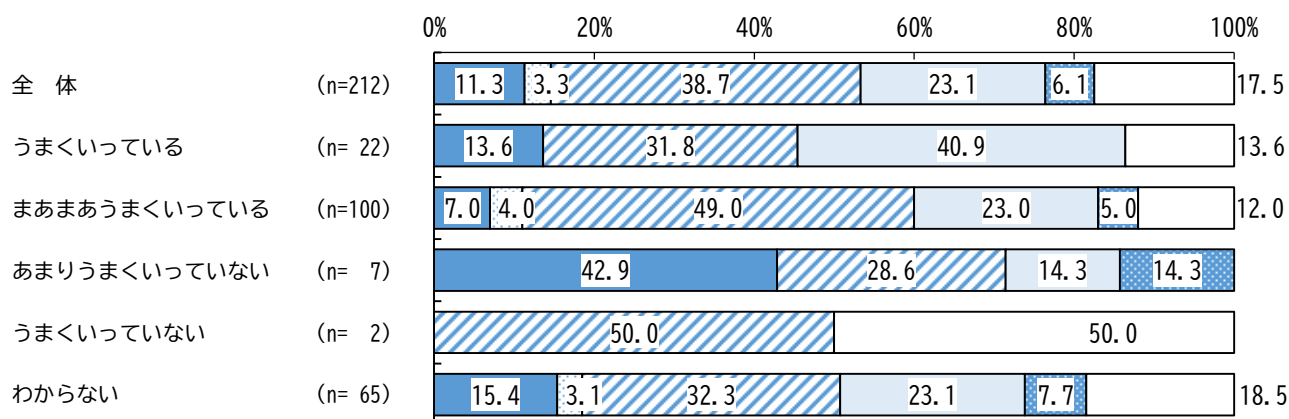


<②-1 医科診療所（有床）>

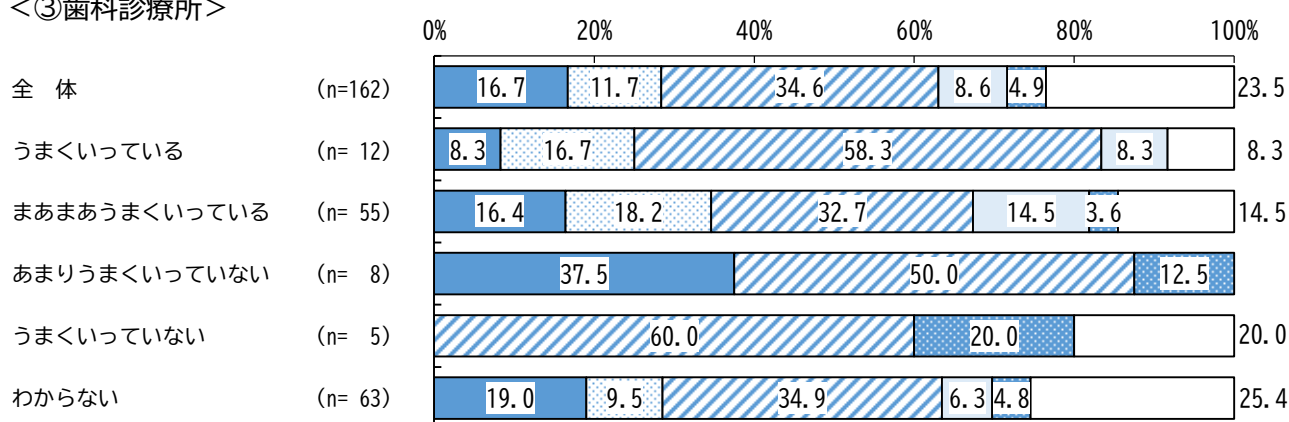


- 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている
- ▨ 可能な限り在宅で行うが、死の直前は病院等医療機関で行うべきである
- ▤ 可能な限り在宅で行いたい、単独では難しい
- 可能な限り在宅で看取りまで行うべきである
- その他
- 無回答

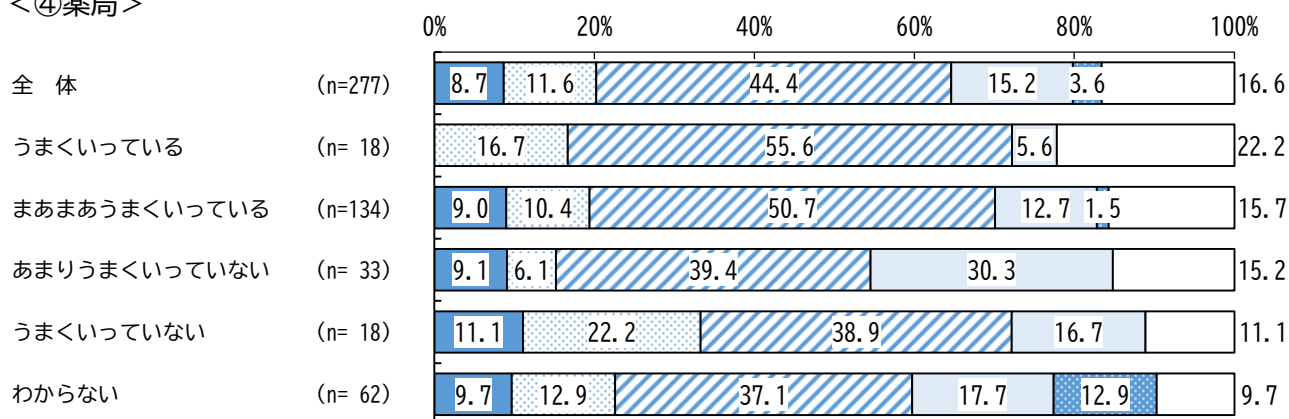
<②-2 医科診療所（無床）>



<③歯科診療所>

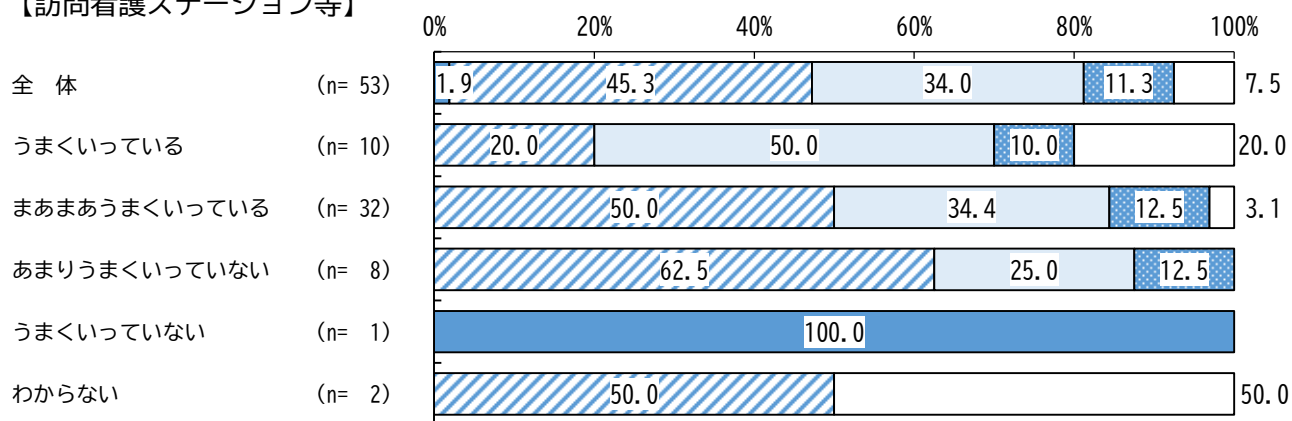


<④薬局>

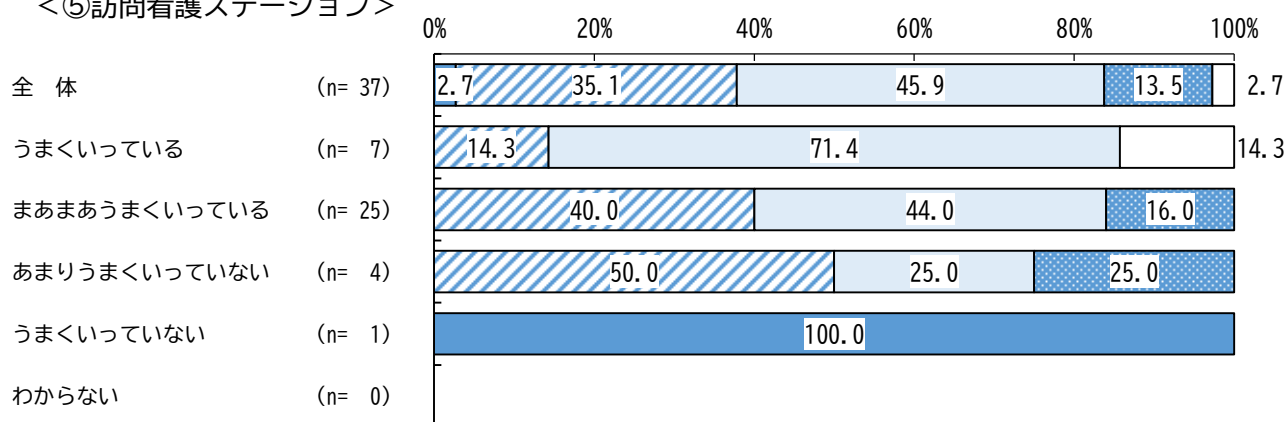


- 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている
- 可能な限り在宅で行うが、死の直前は病院等医療機関で行うべきである
- 可能な限り在宅で行いたい、単独では難しい
- 可能な限り在宅で看取りまで行うべきである
- その他
- 無回答

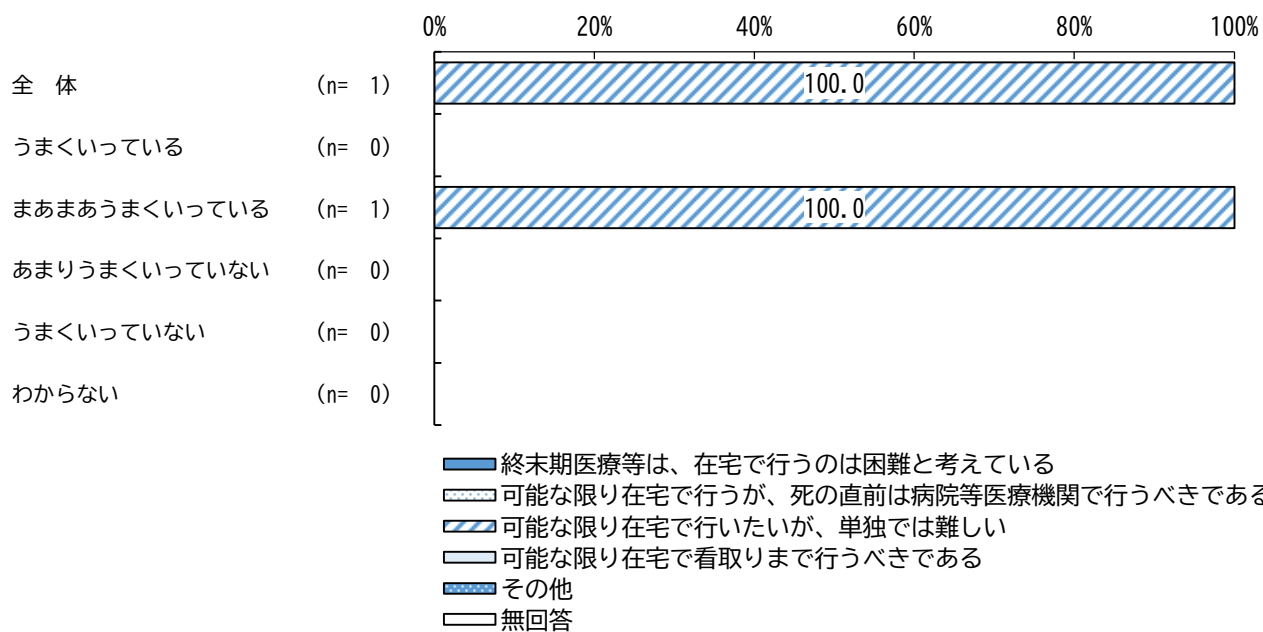
【訪問看護ステーション等】



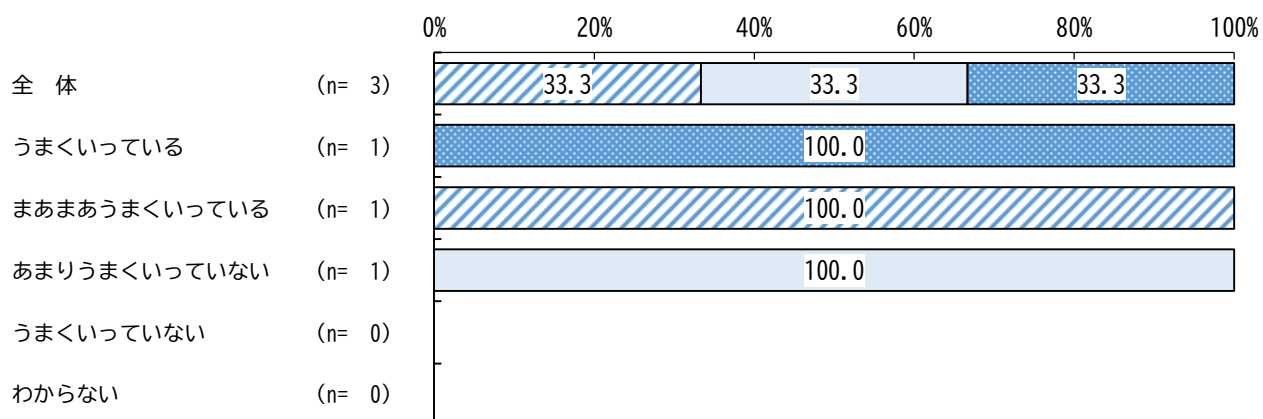
<⑤訪問看護ステーション>



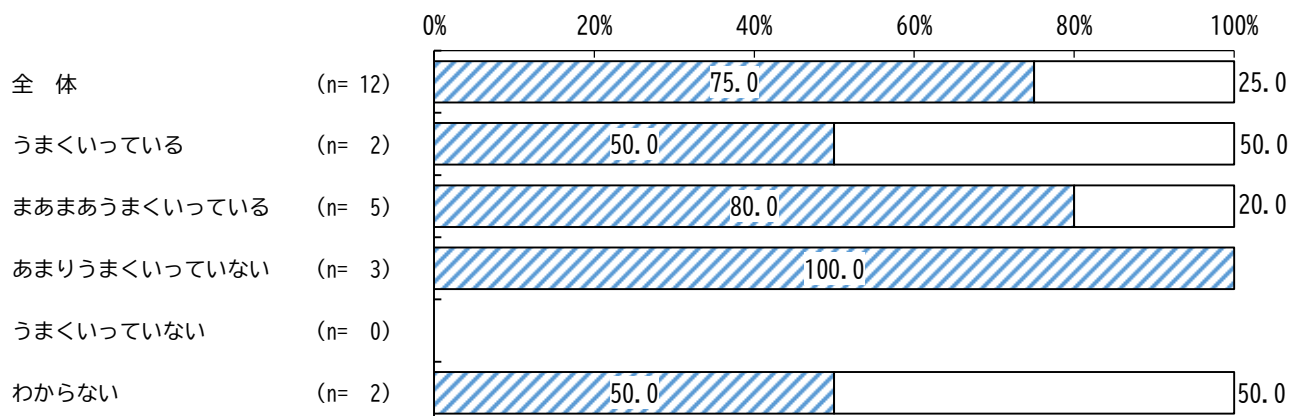
<⑥定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所>



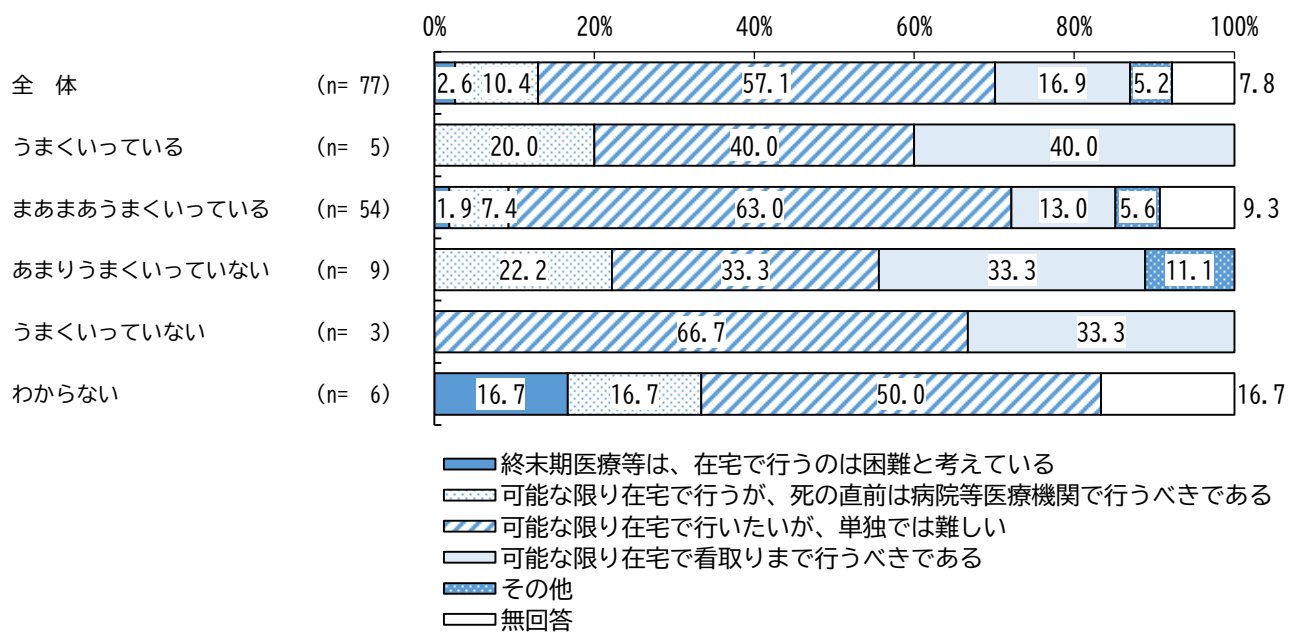
<⑦看護小規模多機能型居宅介護事業所>



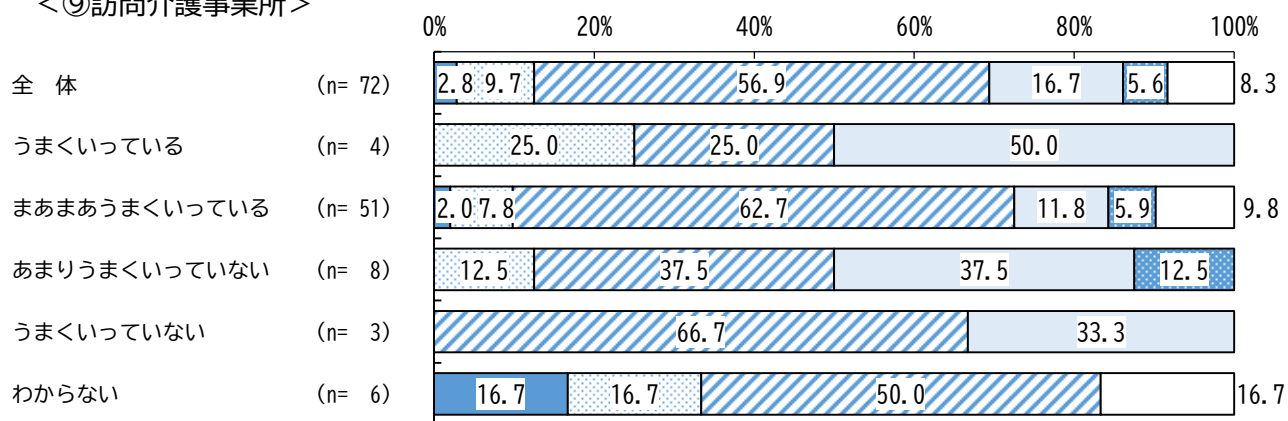
<⑧訪問リハビリテーション事業所>



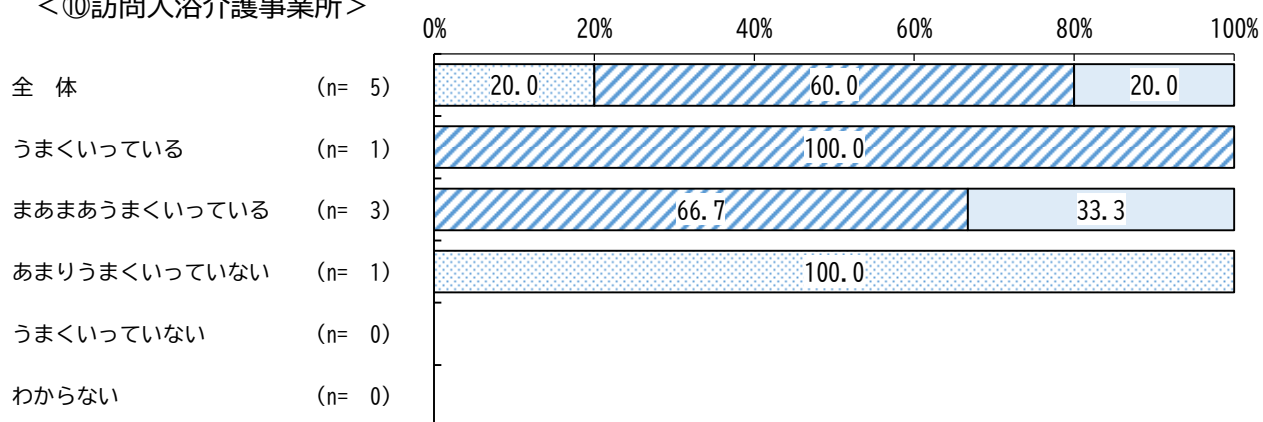
【訪問介護事業所、訪問入浴介護事業所】



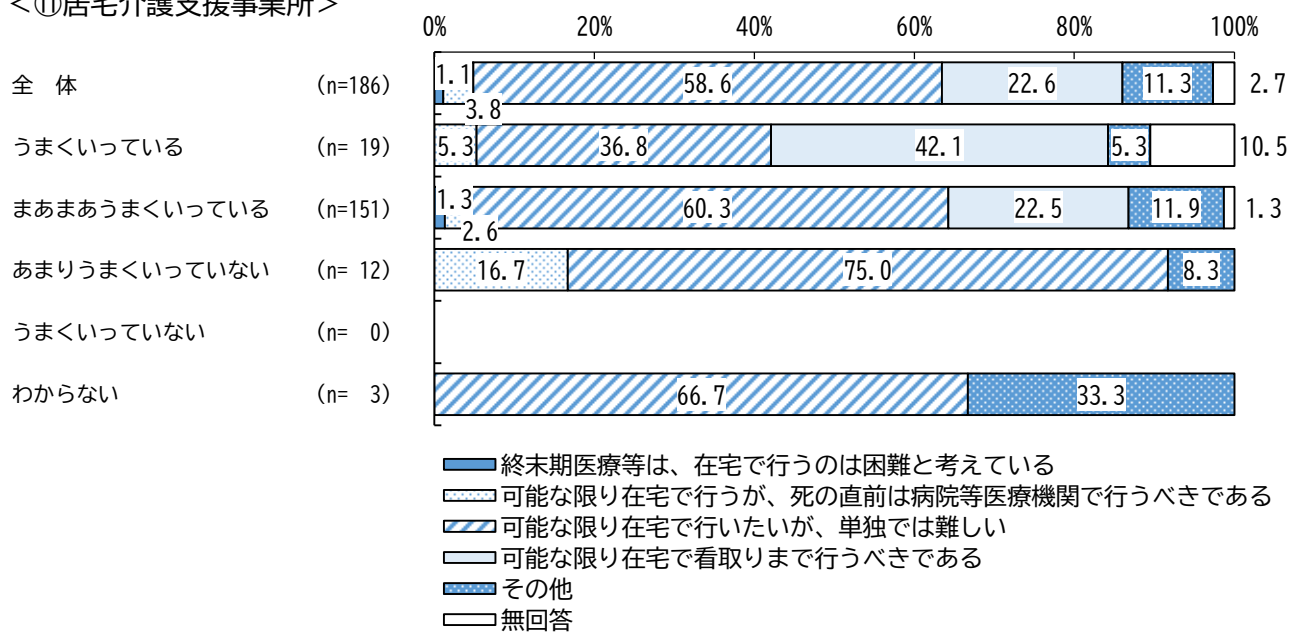
<⑨訪問介護事業所>



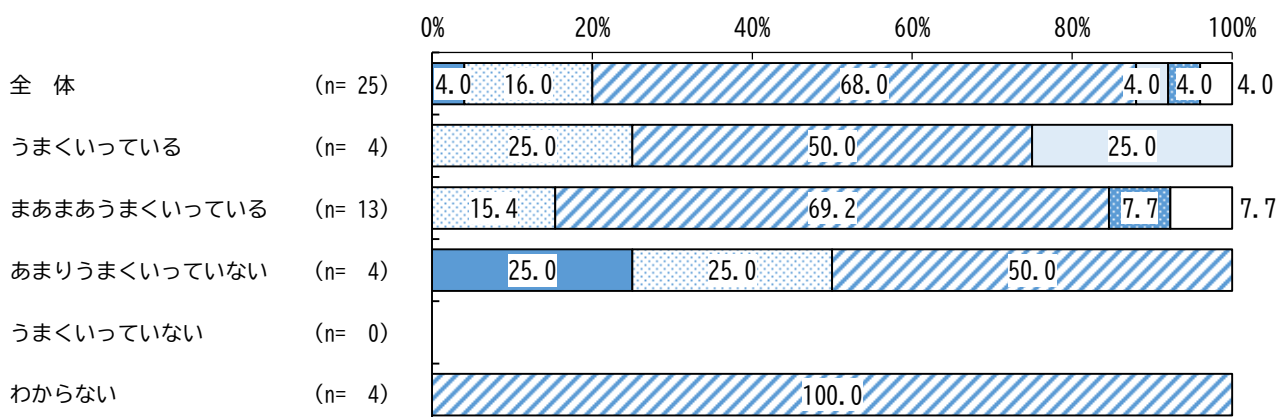
<⑩訪問入浴介護事業所>



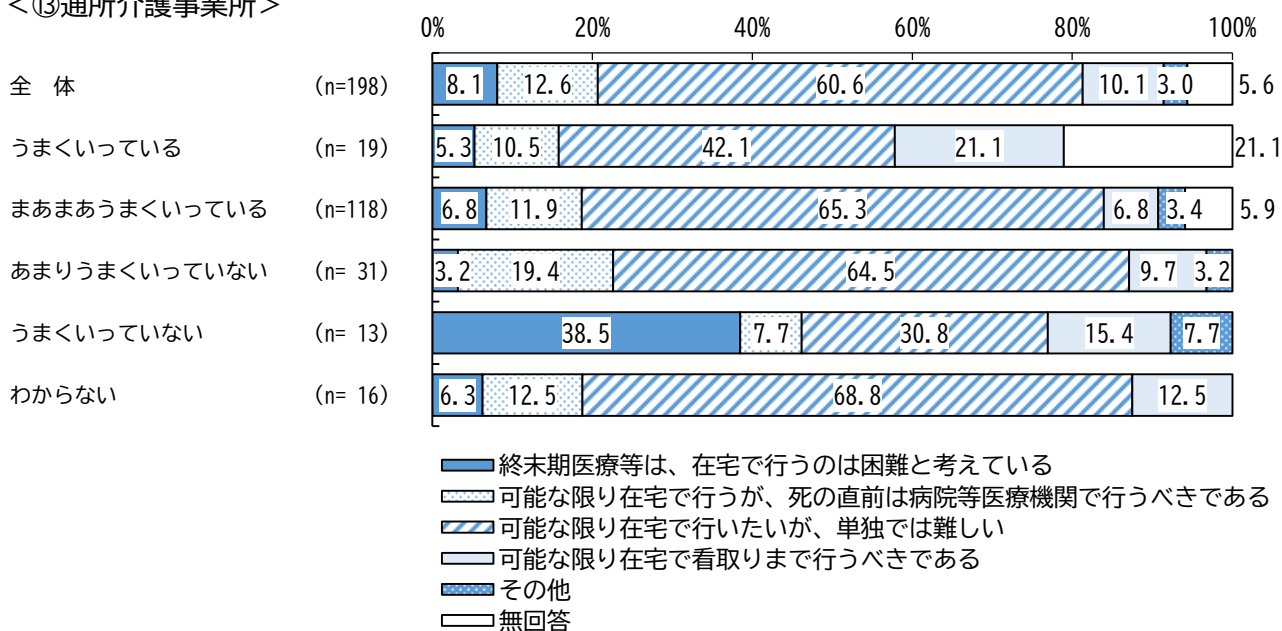
<⑪居宅介護支援事業所>



<⑫通所リハビリテーション事業所>



<⑬通所介護事業所>

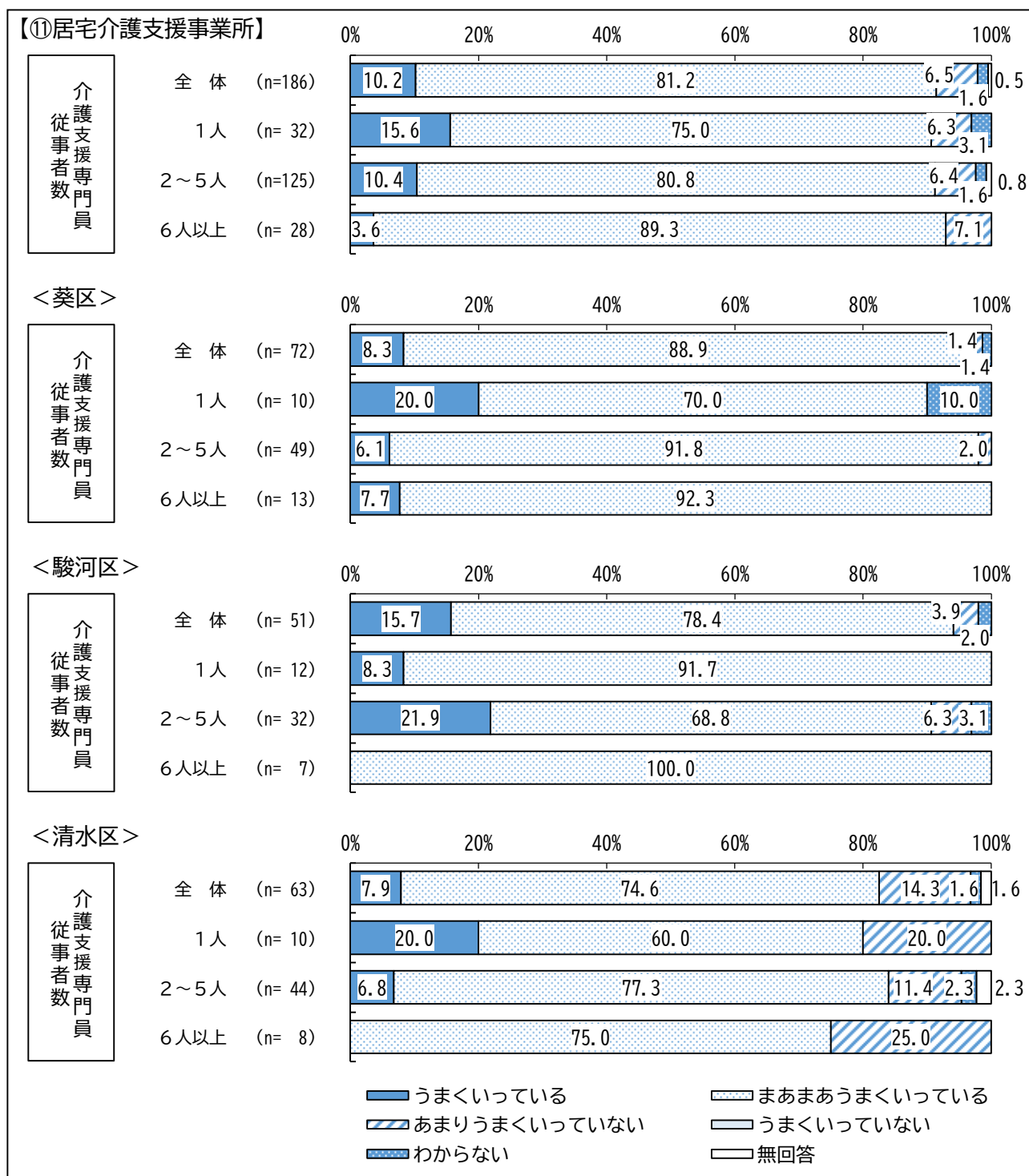


<医療・介護連携と在宅における終末期の限界について>

各施設種別において「(在宅における終末期の限界として) 可能な限り在宅で行いたい、単独では難しい」の回答は、それぞれ『①病院』46.2%、『②-1医科診療所(有床)』33.3%、『②-2医科診療所(無床)』38.7%、『③歯科診療所』34.6%、『④薬局』44.4%、『⑤訪問看護ステーション』35.1%、『⑥定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所』100.0%、『⑦看護小規模多機能型居宅介護事業所』33.3%、『⑧訪問リハビリテーション事業所』75.0%、『⑨訪問介護事業所』56.9%、『⑩訪問入浴介護事業所』60.0%、『⑪居宅介護支援事業所』58.6%、『⑫通所リハビリテーション事業所』68.0%、『⑬通所介護事業所』60.6%となっている。

「(医療・介護連携は) うまくいっている」施設において、「可能な限り在宅で看取りまで行うべきである」の回答は、それぞれ『①病院』50.0%、『②-1医科診療所(有床)』0.0%、『②-2医科診療所(無床)』40.9%、『③歯科診療所』8.3%、『④薬局』5.6%、『⑤訪問看護ステーション』71.4%、『⑦看護小規模多機能型居宅介護事業所』0.0%、『⑧訪問リハビリテーション事業所』0.0%、『⑨訪問介護事業所』50.0%、『⑩訪問入浴介護事業所』0.0%、『⑪居宅介護支援事業所』42.1%、『⑫通所リハビリテーション事業所』25.0%、『⑬通所介護事業所』21.1%となっている。

(5)「区別」と「従事者数（居宅介護支援員数）」と「連携がうまくいっているか」のクロス
※居宅介護支援事業所



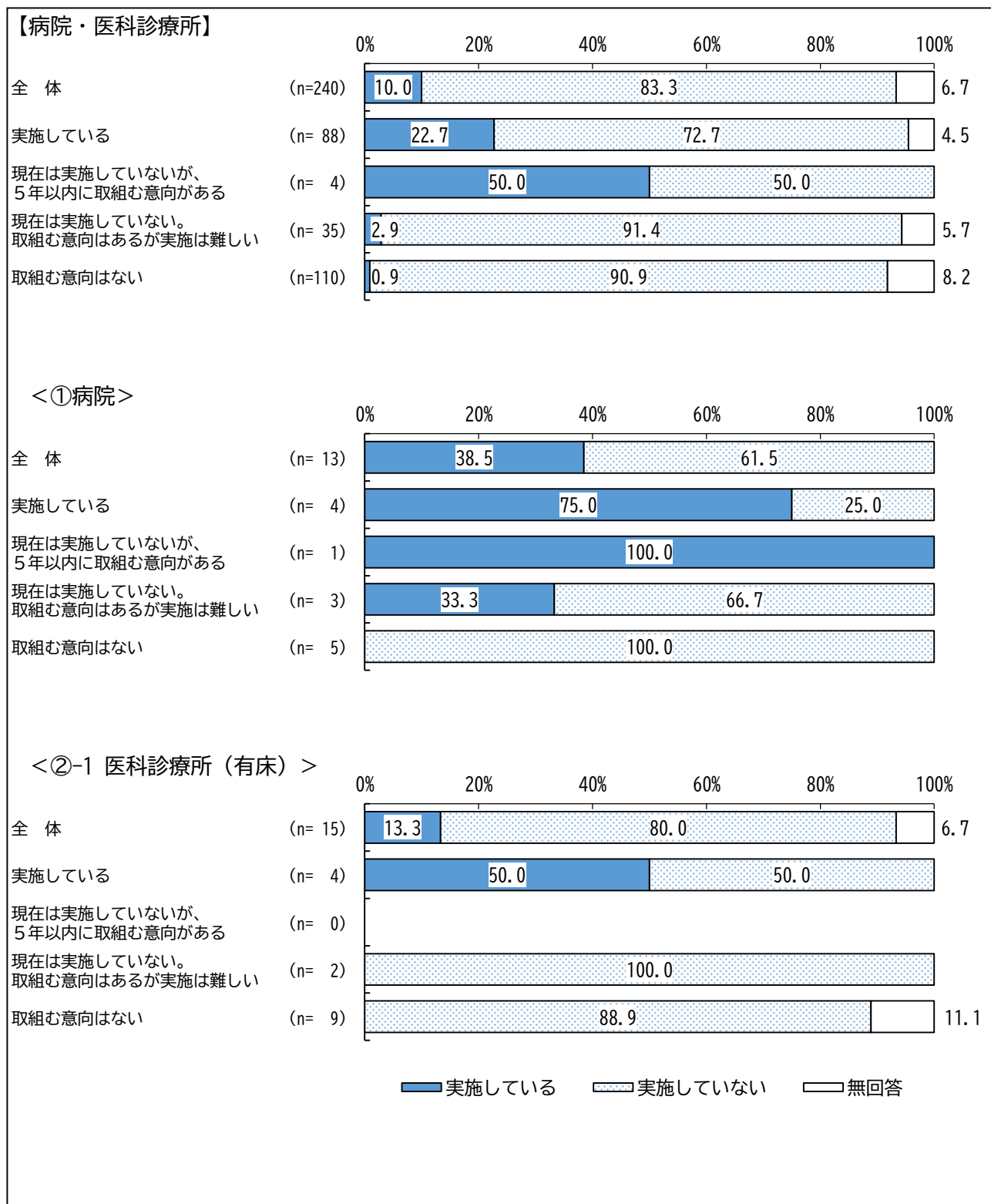
<区別従事者数（居宅介護支援員数）と医療・介護連携について>

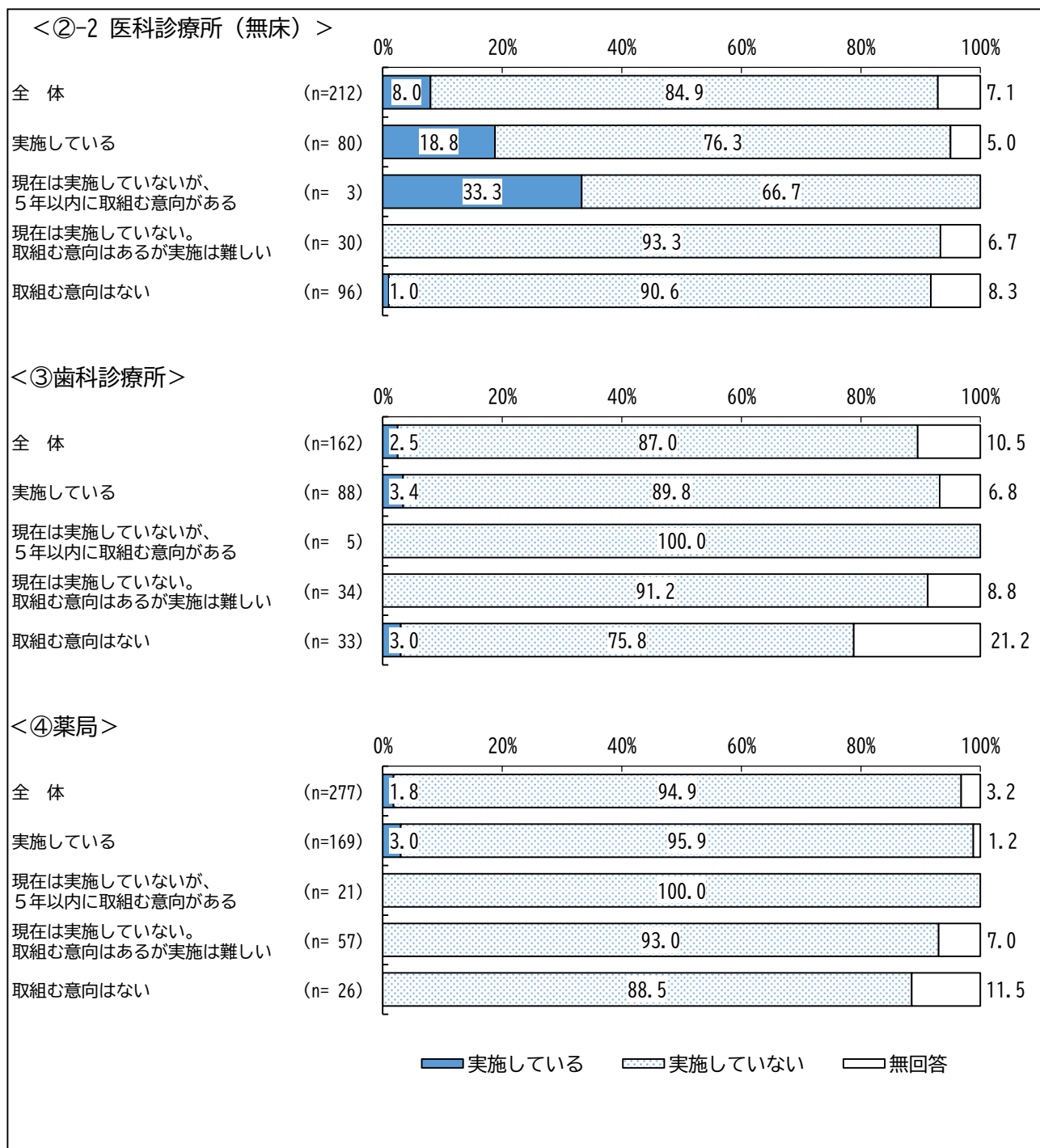
各区において、「(医療・介護連携は) うまくいっている」と「まあまあうまくいっている」の回答を合わせると、『葵区』97.2%、『駿河区』94.1%、『清水区』82.5%となっている。

また、「(従事者) 1人」の施設においては、「(医療・介護連携は) うまくいっている」と「まあまあうまくいっている」の回答を合わせると、『葵区』90.0%、『駿河区』100.0%、『清水区』80.0%となっている。

(6)「在宅医療を実施しているか」と「ACP（人生会議）の実施」のクロス

※①病院・②医科診療所・③歯科診療所・④薬局





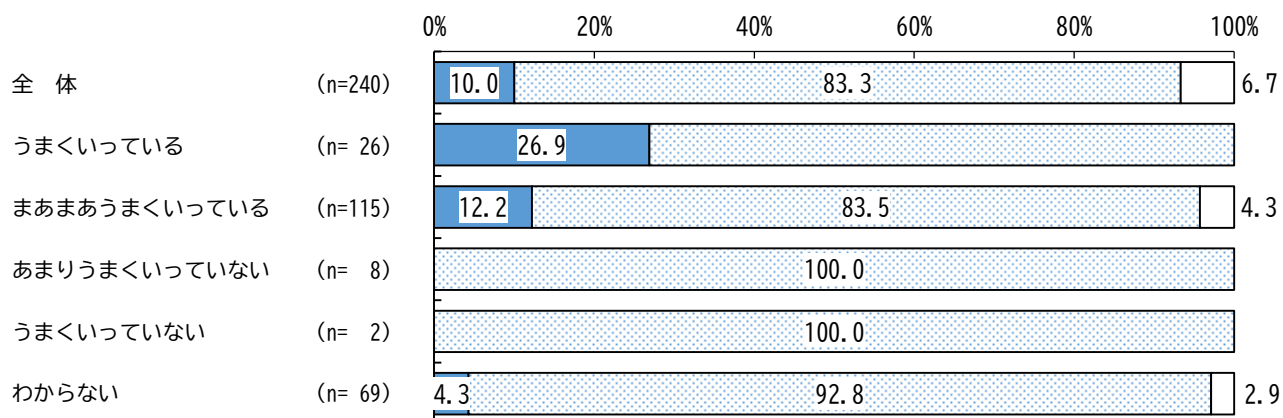
<在宅医療への取組みとACPの実施について>

各施設種別において「(ACP(人生会議)を)実施している」の回答は、それぞれ『①病院』38.5%、『②-1医科診療所(有床)』13.3%、『②-2医科診療所(無床)』8.0%、『③歯科診療所』2.5%、『④薬局』1.8%となっている。

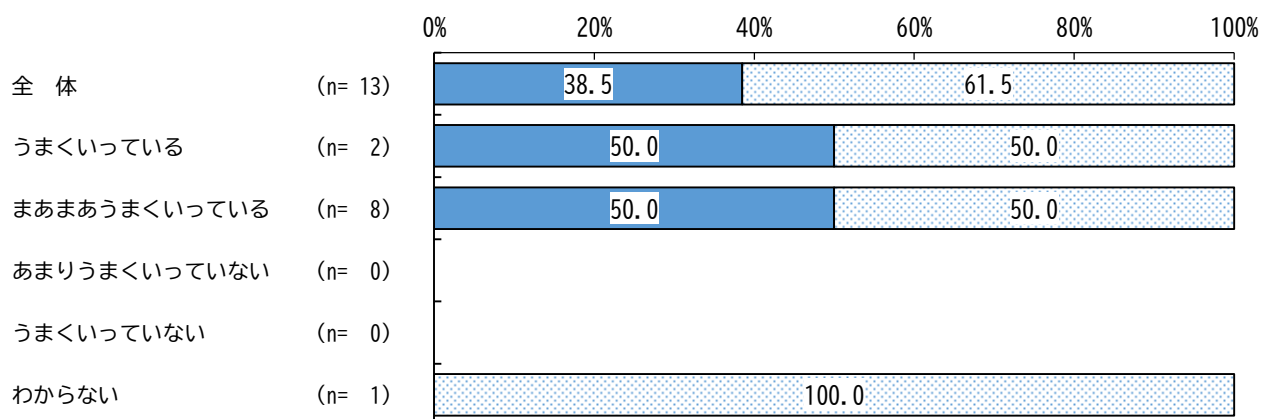
「(在宅医療を)実施している」施設において、「実施している」の回答は、それぞれ『①病院』75.0%、『②-1医科診療所(有床)』50.0%、『②-2医科診療所(無床)』18.8%、『③歯科診療所』3.4%、『④薬局』3.0%となっている。

(7)「医療・介護の連携はうまくいっているか」と「ACP（人生会議）の実施」のクロス

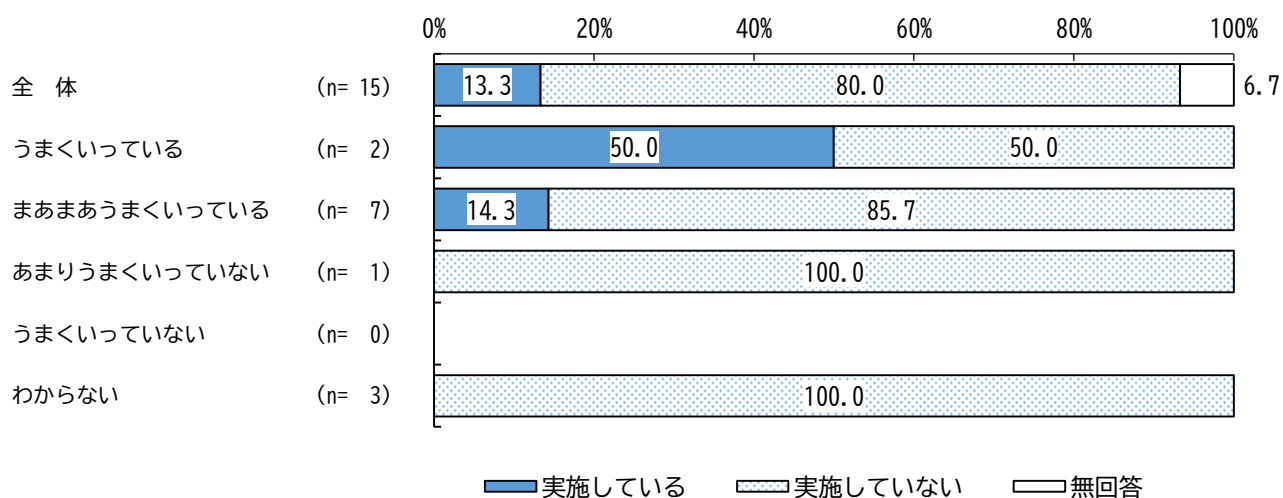
【病院・医科診療所】



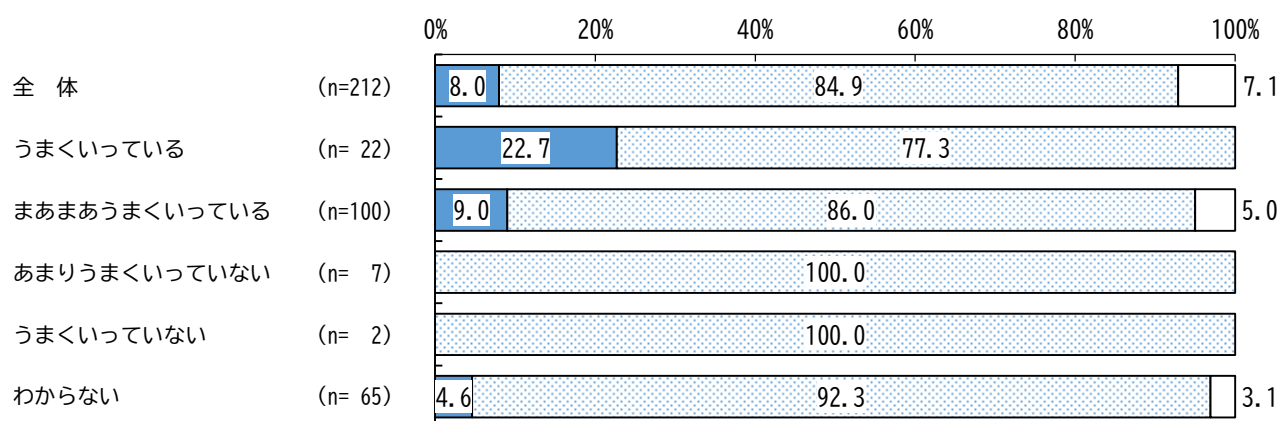
<①病院>



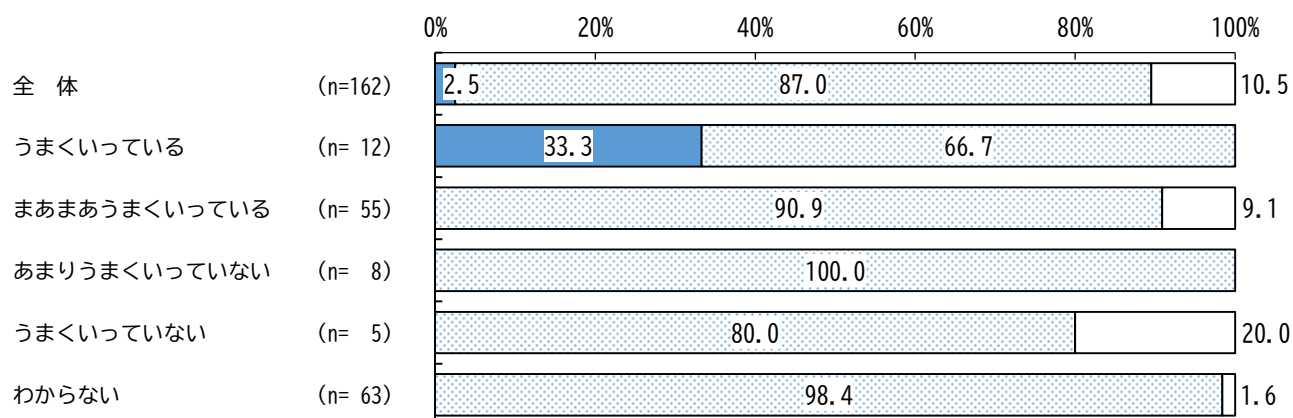
<②-1 医科診療所（有床）>



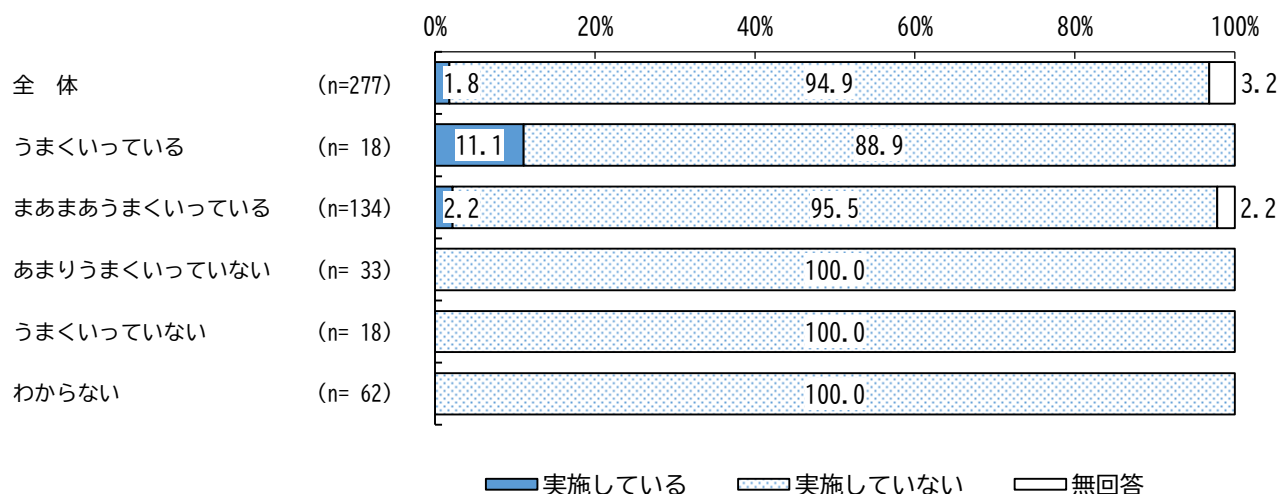
<②-2 医科診療所（無床）>



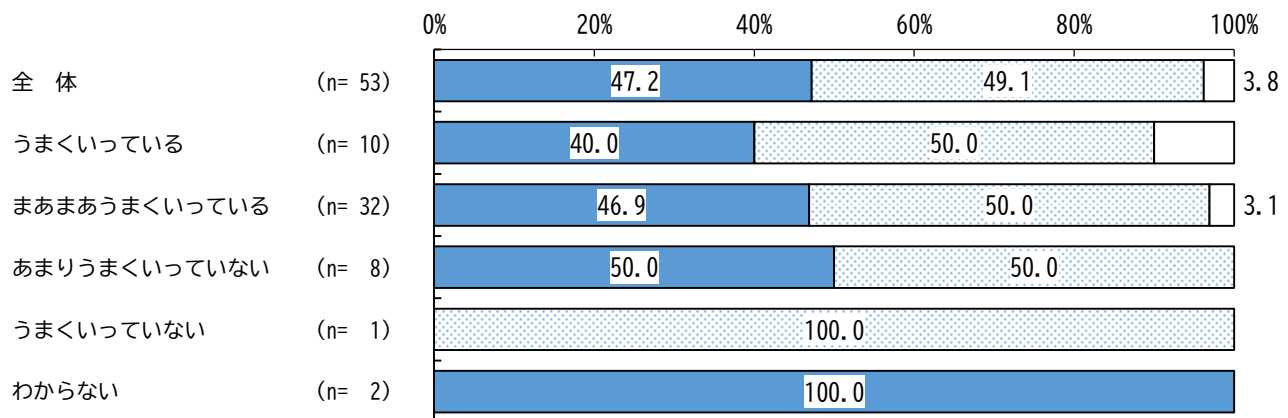
<③歯科診療所>



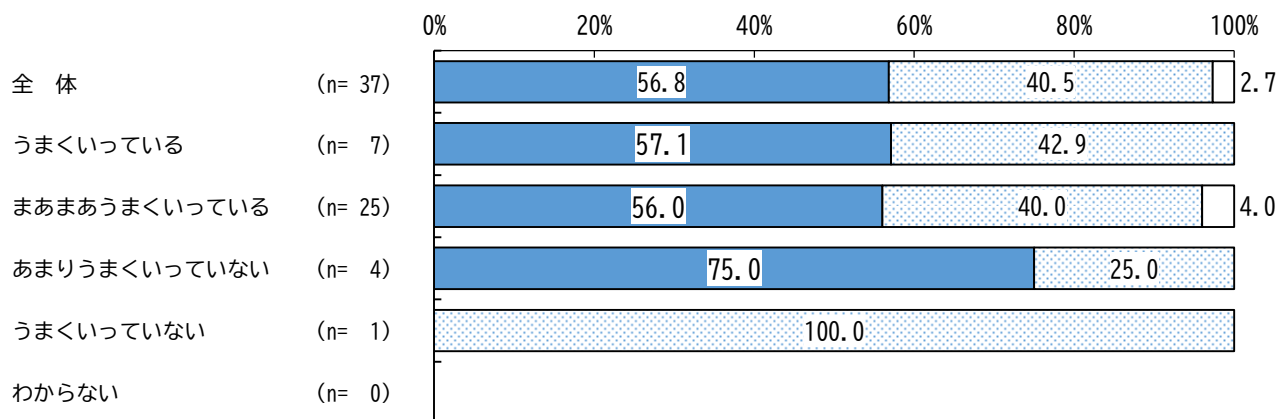
<④薬局>



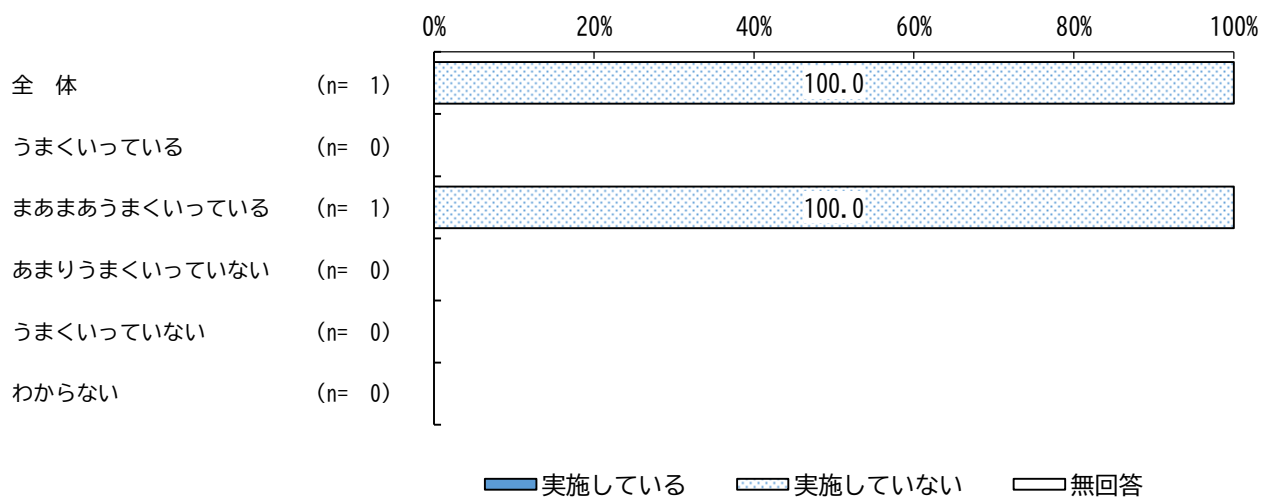
【訪問看護ステーション等】



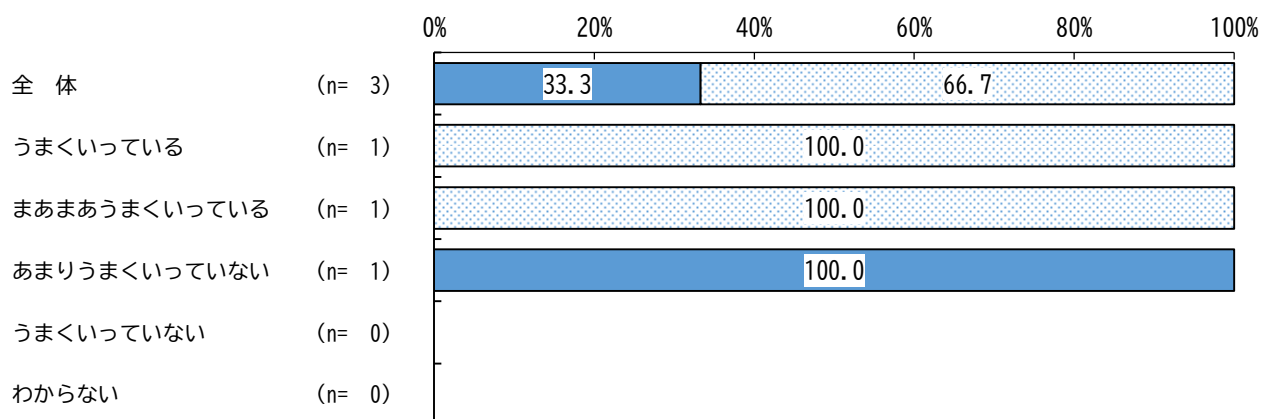
<⑤訪問看護ステーション>



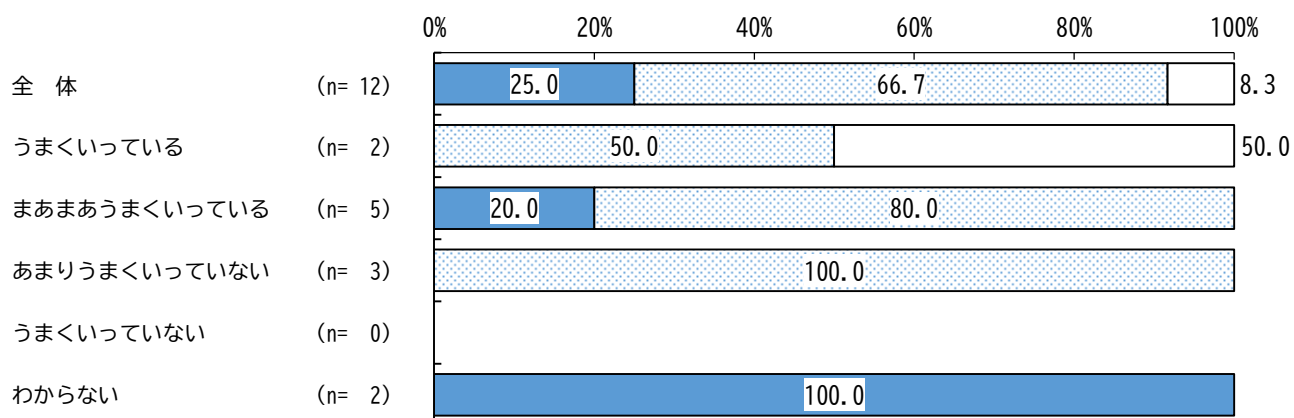
<⑥定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所>



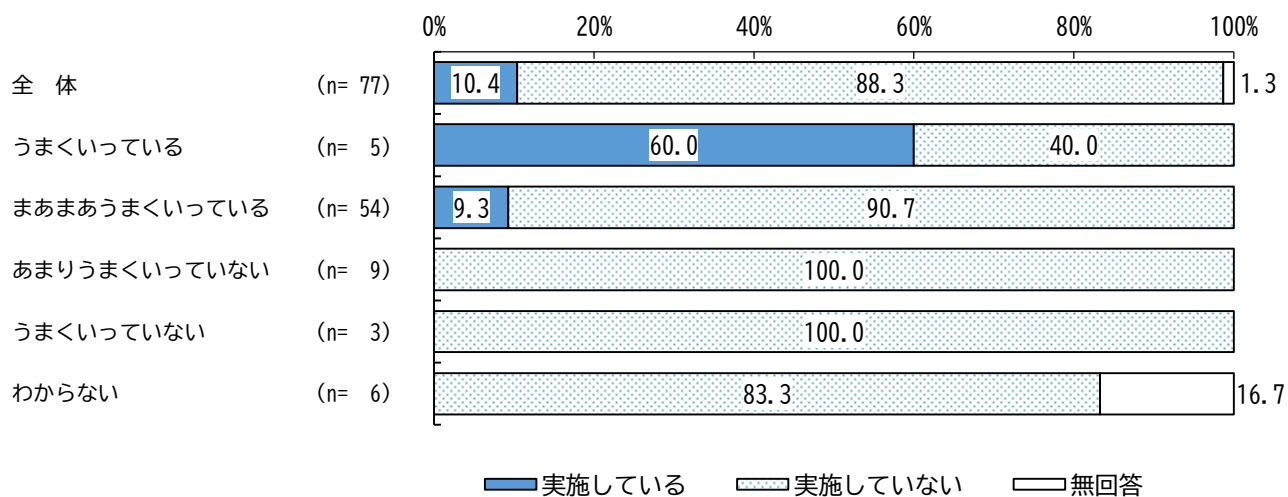
<⑦看護小規模多機能型居宅介護事業所>



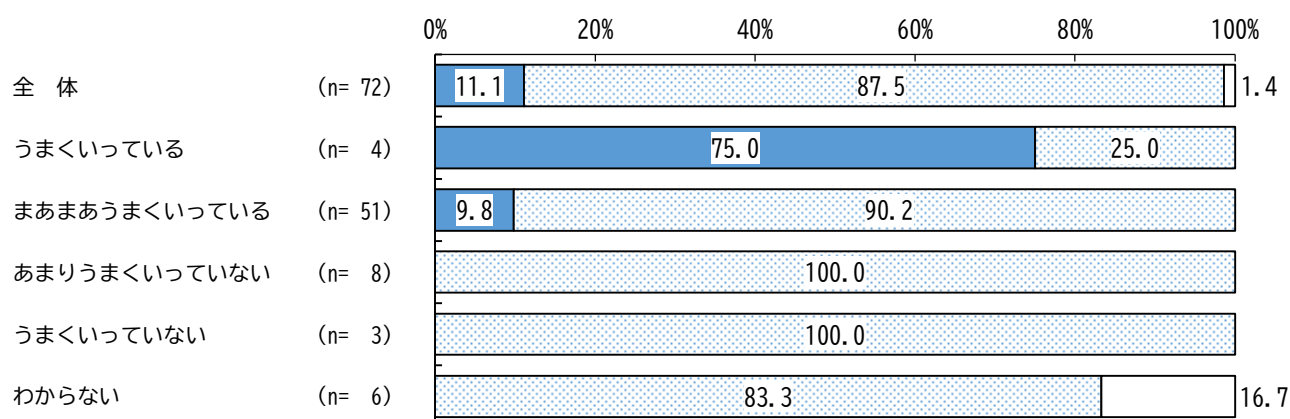
<⑧訪問リハビリテーション事業所>



【訪問介護事業所、訪問入浴介護事業所】



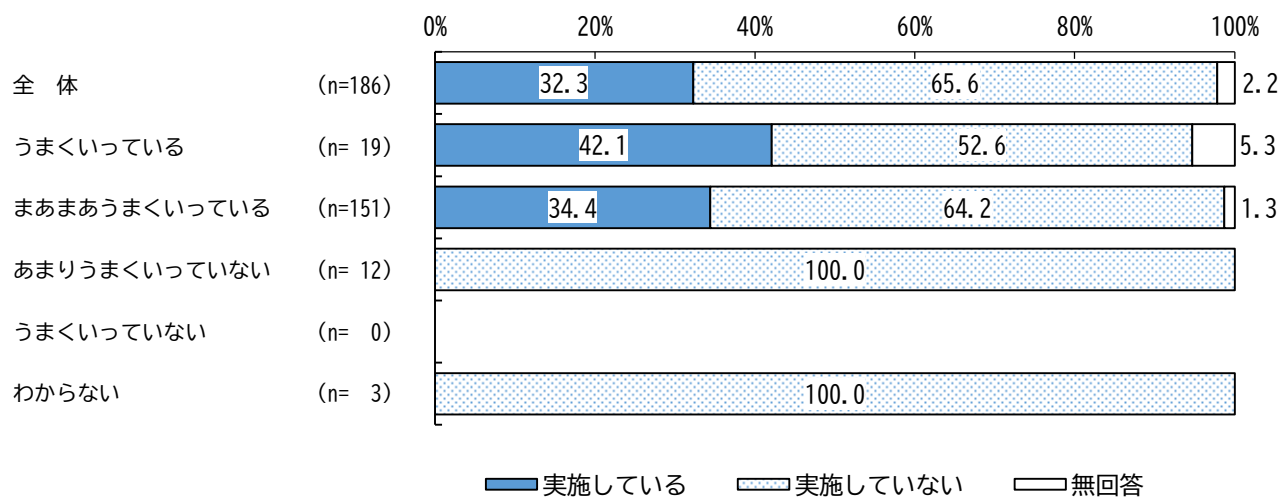
<⑨訪問介護事業所>



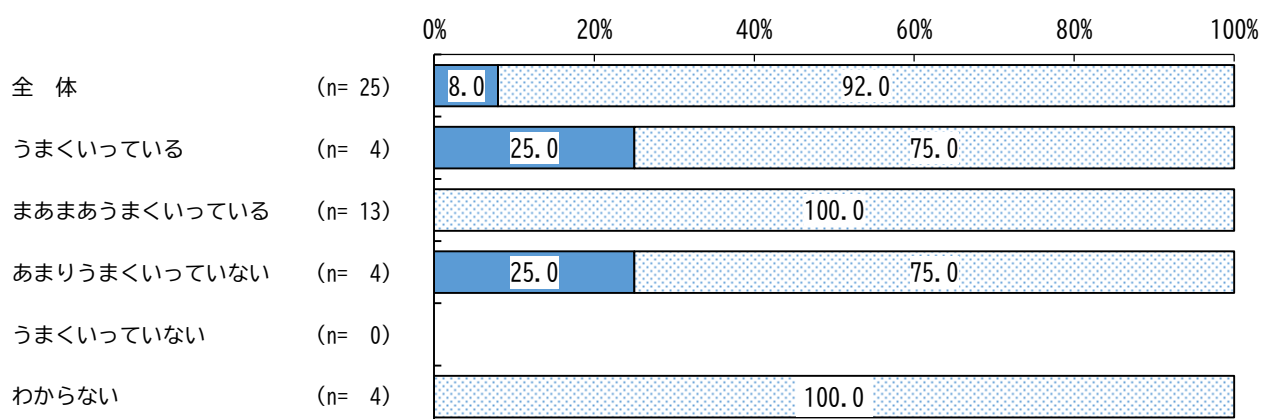
<⑩訪問入浴介護事業所>



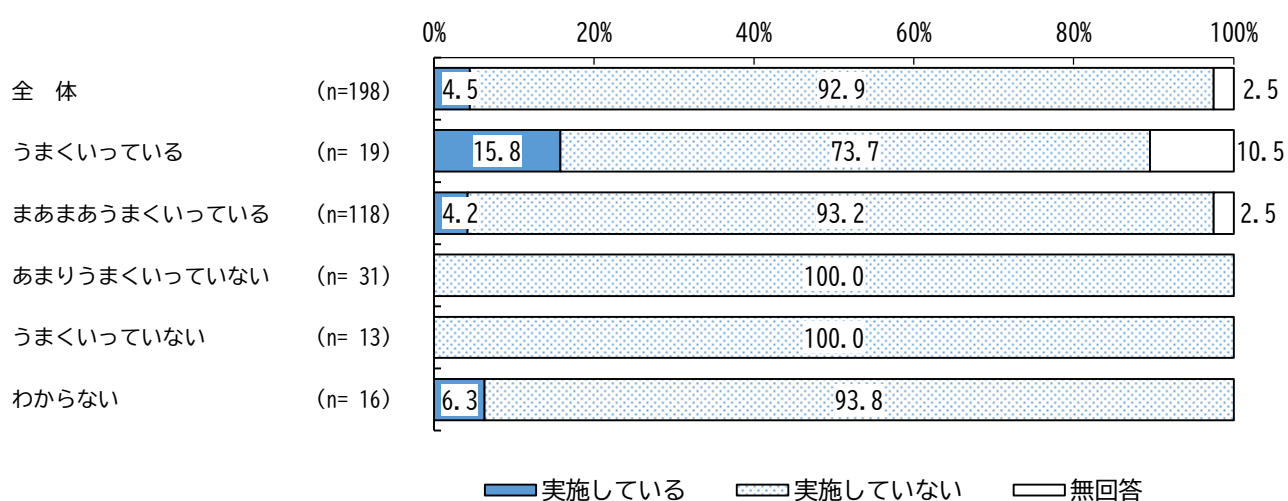
<⑪居宅介護支援事業所>



<⑫通所リハビリテーション事業所>



<⑬通所介護事業所>



<医療・介護連携とACPの実施について>

各施設種別において「(ACP (人生会議) を) 実施している」の回答は、それぞれ『①病院』38.5%、『②-1医科診療所 (有床)』13.3%、『②-2医科診療所 (無床)』8.0%、『③歯科診療所』2.5%、『④薬局』1.8%、『⑤訪問看護ステーション』56.8%、『⑥定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所』0.0%、『⑦看護小規模多機能型居宅介護事業所』33.3%、『⑧訪問リハビリテーション事業所』25.0%、『⑨訪問介護事業所』11.1%、『⑩訪問入浴介護事業所』0.0%、『⑪居宅介護支援事業所』32.3%、『⑫通所リハビリテーション事業所』8.0%、『⑬通所介護事業所』4.5%となっている。

「(医療・介護連携は) うまくいっている」施設において、「実施している」の回答は、それぞれ『①病院』50.0%、『②-1医科診療所 (有床)』50.0%、『②-2医科診療所 (無床)』22.7%、『③歯科診療所』33.3%、『④薬局』11.1%、『⑤訪問看護ステーション』57.1%、『⑥定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所』0.0%、『⑦看護小規模多機能型居宅介護事業所』0.0%、『⑧訪問リハビリテーション事業所』0.0%、『⑨訪問介護事業所』75.0%、『⑩訪問入浴介護事業所』0.0%、『⑪居宅介護支援事業所』42.1%、『⑫通所リハビリテーション事業所』25.0%、『⑬通所介護事業所』15.8%となっている。

